

# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students

## プロフィール (Profile)

氏名：中田 潤

所属：地域保健学域 教育福祉学類

学年：2年

留学先：マラヤ大学

留学期間：2018/8/5～2018/8/26

記入日：2018/9/5



## 留学レポート Study Abroad Report

### ★全体概観

Selamat petang (スラマツ パタン)！皆さん、こんにちは！クアラルンプールでの短期留学を報告いたします。この留学はサマー・エンリッチメント・プログラムと申します（以下 SEP）。SEP は大阪府立大の学生だけでなく、他の日本の大学からも参加します。今回 2018 年 8 月の SEP は計 45 人の日本人学生が参加いたしました。関西学院大学 20 人、東北大学 18 人、福井大学 4 人、大阪府立大学 3 人です。

SEP は 2 つの要素を含みます。1 つはマラヤ大学での語学研修。もう 1 つはアクティビティです。

語学はライティング、リーディング及びボキャブラリー、文法、そして文化学習のマレーシアン・スタディです。授業はマレーシアン・スタディを除き、すべて英語（イギリス英語）で行われます。ここマラヤ大学はマレーシアでナンバー 1 の評価をもち、世界的にも大学ランキング上位に入ります。SEP では、そのマラヤ大学で学べる絶好の機会を得られます。またアクティビティは多岐にわたります。クアラルンプール市内の観光やイスラム博物館の訪問、ウォーターレクリエーション（川遊び）、マラッカ見学です。マレーシアン・キッチンでは地元の伝統料理をつくります。

### ★バディ制度

部屋は大学寮インターナショナル・ハウス（以下 IH）内で 4 人が生活します。留学生 3 人（今回は全員日本人）、マラヤ大学の学生 1 人です。このマラヤ大の学生はグループ内の責任者（班長）で、何でも親切に留学生の世話をしてくれます。このバディという英語は、「仲間、親友、友達、相棒」を意味します。当初留学生は皆このマラヤ大の学生をバディと呼んでいますが、正しくありません。バディは「仲間」なので、向こうにとっても我々がバディになります。ですから自分の班長を意図したい場合は「ローカルバディ」と呼んであげてください。ローカルバディは我々の授業にも一緒に参加し、勉強も助けてくれます。とても楽しいですよ！

### ★宗教

マレーシアは、憲法上イスラム教を国教（連邦の宗教）と定めており、人口の 60% 以上をイスラム教徒が占めます。お酒、豚はタブーで左手は不浄です。ただし、この国は多民族国家のためムスリム以外の慣習にも寛容です。そのため我々留学生も大きな不自由は感じなかったです。とはいえ、ムスリムの前では礼儀をわきまきましょう。とりわけ女性ムスリムへのマナーは大切です。女性ローカルバディとの写真撮影で、むやみに肩を触ったり大声を出してはいけません。過去、日本人留学生の無作法により、問題となった事案がありました。ムスリムへの配慮に努めましょう。

### ★驚いたこと（新しい発見など）4 つ

1. 自分にとって、「ここは本当にマレーシアなんだ」と感じる時があります。それはアザン（アザーン）が聞こえてきたときです。この「adhān」はイスラム教における礼拝（サラート）への呼び掛けを意味します。朝 5:30 頃を最初に 1 日 5 回、アラビア語で町全体に流れます。自分はこれを聞いたたびに、心が洗われます。ぜひ皆さんも耳を傾けてください。

2. 次に停電です。1 度だけ大規模な停電が起きました。夜の 8:30 から 10:00 まで 1 時間半もの間、IH 内のすべての電気がストップしました。完全に真っ暗です。当初、大変困りました。しかし皆落ち着いて、復旧までスマホを操作したり怪談話をしていました。途中から慣れてきて、意外に楽しんでいました。今考えると、あの停電は計画停電だったかもしれません。

3. 言語です。準公用語が英語（British English）のため、バスの運転手や掃除のおばさんにまで英語が通じます。しかし公用語のマレー語を少し習得することをお勧めします。とくに「ありがとうございます。」

の意「terima kasih (トゥリマカシ)」は絶対にお得です。これを言えば必ず相手から「どういたしまして」の「Sama-sama (サマサマ)」が返ってくると思います。自分は3週間で「terima kasih」を数えきれないほど用いました。皆さんも、ぜひ1日目から使ってください。

4. 食べ物と健康管理。マレーシアの食べ物は美味しいです。そして味のほとんどが「とても甘い」か「非常に辛い」になります。年中の暑さに耐えるため、このような Taste になっています(画像1と2参照)。日本人留学生は皆毎食パクパク食べていました(激辛料理をを除き)。しかし注意も必要です。野菜不足です。ほとんど野菜がありません。自分はこれを解消するため、スーパーで必ず野菜を買っていました。皆さんも最初の1週間、野菜の摂取に困ると思います。日本から野菜ジュースなどをいくつか、スーツケースに入れて持参すると良いです。またハードなスケジュールなので、毎日十分な休息を取ってください。今回の SEP でも体調不良を訴えた学生が数人いました。健康管理には十分お気をつけて。

★最後に、SEP 参加を検討中の方へ

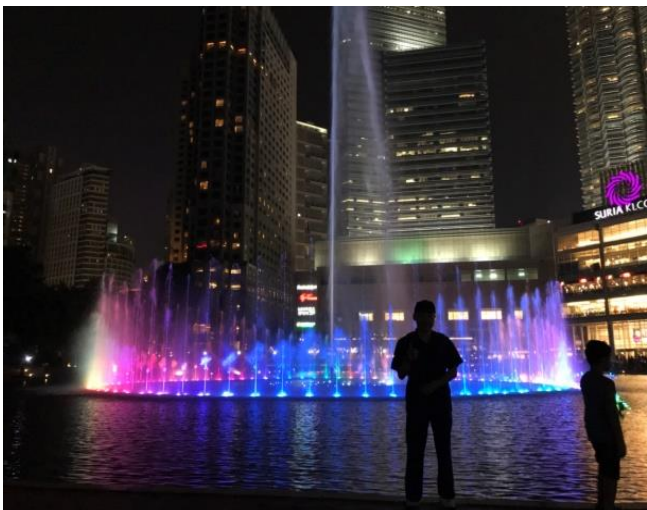
SEP は費用が大変リーズナブルで、マレーシアの魅力を体験できるプログラムです。期間は3週間ですが完全な休みが無いため、実質 1 ヶ月ほどの留学内容になります。語学力だけではなく、マレーシア人の特徴やマラヤ大の授業を学べるのが大きなメリットです。検討中の方はぜひ参加をお勧めします。不安点や疑問点があれば、いつでも自分が対応しますので気軽に問いあわせて下さい。以上になります。



画像1：マラヤ大学カフェテリアでの朝食。



画像2：屋台での夕飯。たったの6RM (¥170)。量も十分



画像3：ツインタワー前の噴水



画像4：IH 近くのスーパー (Cold Storage) とレジのお姉さん。皆さんも、よく買い物に利用することでしょう